

( 1 9 ) 【発行国・地域】日本国特許庁 ( J P )  
( 4 5 ) 【発行日】平成 3 0 年 1 1 月 1 2 日 ( 2 0 1 8 . 1 1 . 1 2 )  
( 1 2 ) 【公報種別】意匠公報 ( S )  
( 1 1 ) 【登録番号】意匠登録第 1 6 1 7 9 5 1 号 ( D 1 6 1 7 9 5 1 )  
( 2 4 ) 【登録日】平成 3 0 年 1 0 月 1 9 日 ( 2 0 1 8 . 1 0 . 1 9 )  
( 5 4 ) 【意匠に係る物品】組立型の動物用脱出器具

【部分意匠】

( 5 2 ) 【意匠分類】 L 2 - 5 4 0 0  
( 5 1 ) 【国際意匠分類】 L o c ( 1 1 ) C 1 . 2 5 - 0 2  
( 2 1 ) 【出願番号】意願 2 0 1 8 - 4 7 1 3 ( D 2 0 1 8 - 4 7 1 3 )  
( 2 2 ) 【出願日】平成 3 0 年 3 月 7 日 ( 2 0 1 8 . 3 . 7 )

( 7 2 ) 【創作者】

【氏名】三好 真三詩

【住所又は居所】北海道河東郡音更町柳町北区 2 5 番地 7

( 7 3 ) 【意匠権者】

【識別番号】 5 1 2 2 0 4 9 4 9

【氏名又は名称】三好 真三詩

【住所又は居所】北海道河東郡音更町柳町北区 2 5 番地 7

( 7 3 ) 【意匠権者】

【識別番号】 5 0 4 3 0 0 0 8 8

【氏名又は名称】国立大学法人帯広畜産大学

【住所又は居所】北海道帯広市稲田町西 2 線 1 1 番地

( 7 4 ) 【代理人】

【識別番号】 1 0 0 1 0 6 9 5 4

【弁理士】

【氏名又は名称】岩城 全紀

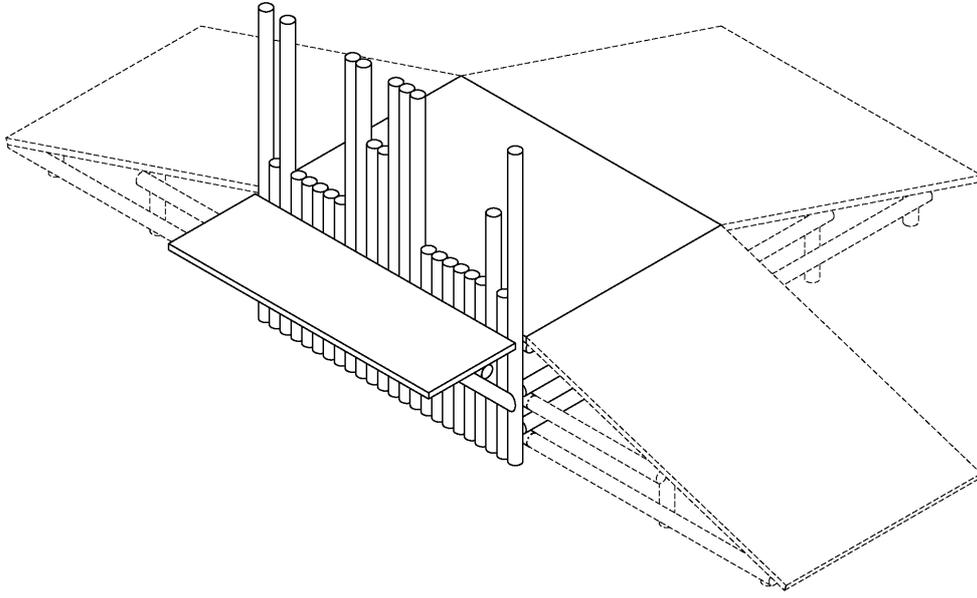
【審査官】住 康平

( 5 5 ) 【意匠に係る物品の説明】本物品は、主に、道路沿いなどに設置されている動物侵入防止柵と併せて設置され、例えば道路敷地の内側に侵入した動物を、道路敷地の外側へ脱出させるための組立型の動物用脱出器具に関する。

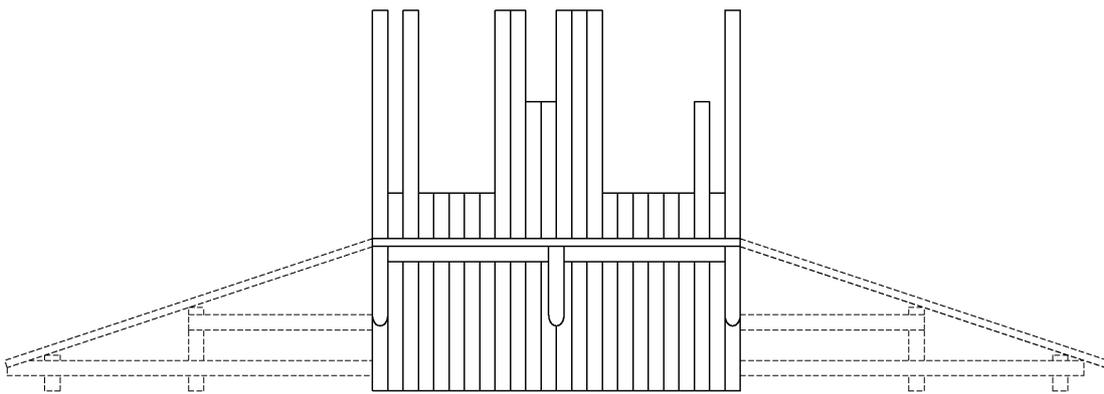
( 5 5 ) 【意匠の説明】実線で示される部分が部分意匠として登録を受けようとする部分である。本物品の組立型の動物用脱出器具は、参考図 1 , 2 に示されるように、敷地内側に設置された踏板、格子柵、並びに敷地外側の脱出誘導ステップ ( 誘導踏み段 ) を備えて構成されている。道路などの敷地内側に侵入したシカなどの動物は、緩勾配で設置されたスロープなどを登坂して敷地側の踏板に導かれた後、開口部を備えた格子柵を通り抜け、さらに脱出誘導ステップ ( 誘導踏み段 ) を経て、敷地外へ飛び降りるようにして脱出する。脱出誘導ステップ ( 誘導踏み段 ) は、地上から高さがあることから、中型動物のよじ登りや、敷地外側からの逆侵入を防止することが可能である。

【図面】

【斜視図 1】



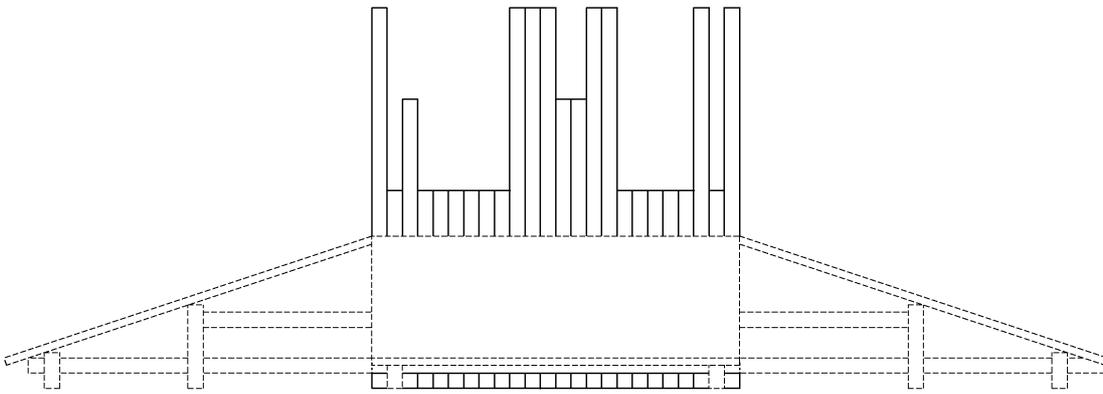
【正面図】



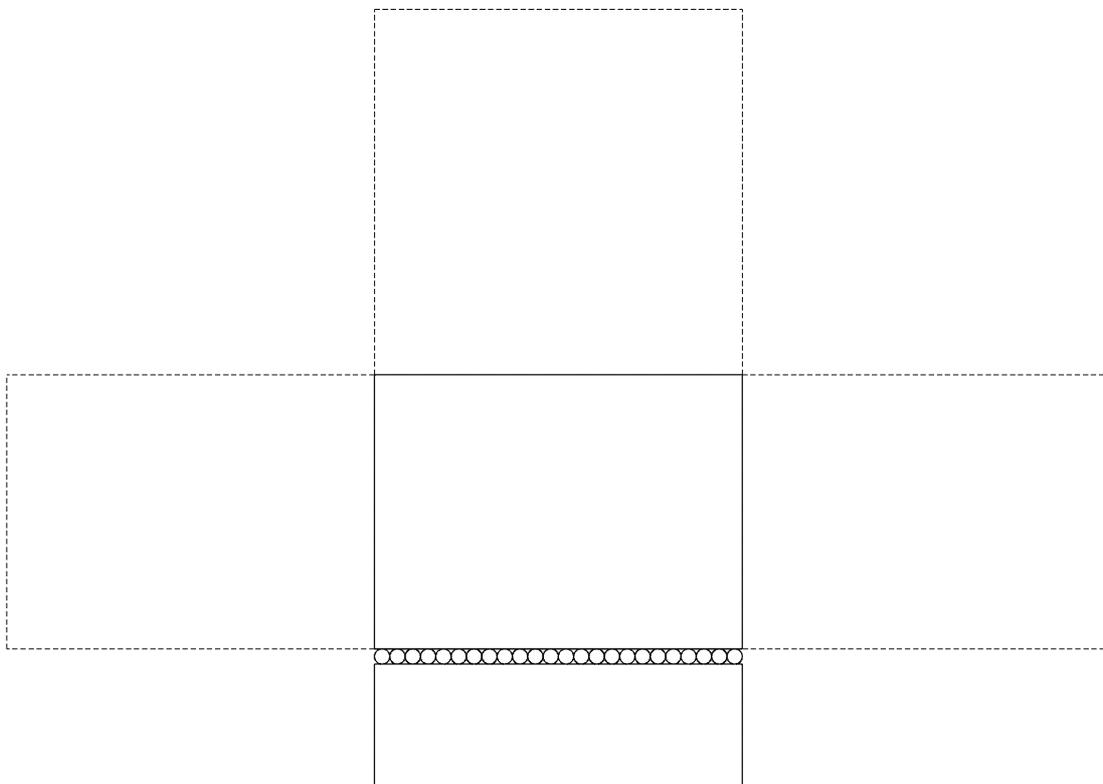
【背面図】

(3)

意匠登録 1 6 1 7 9 5 1



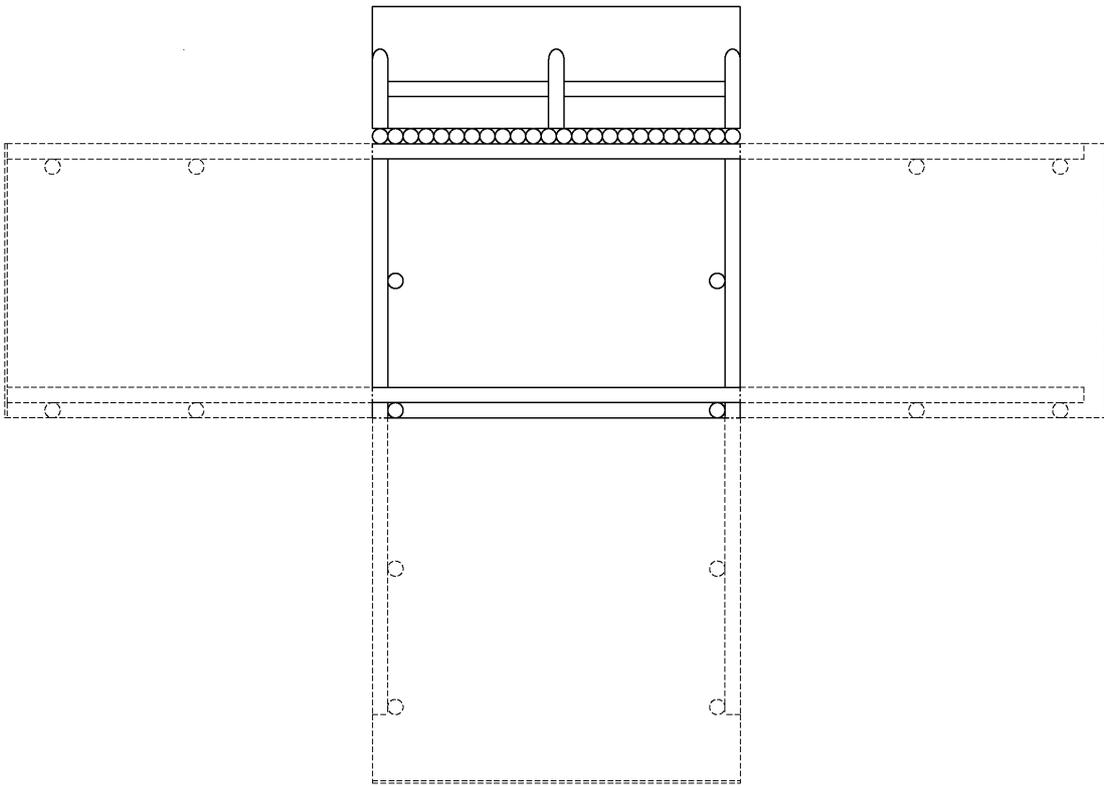
【平面図】



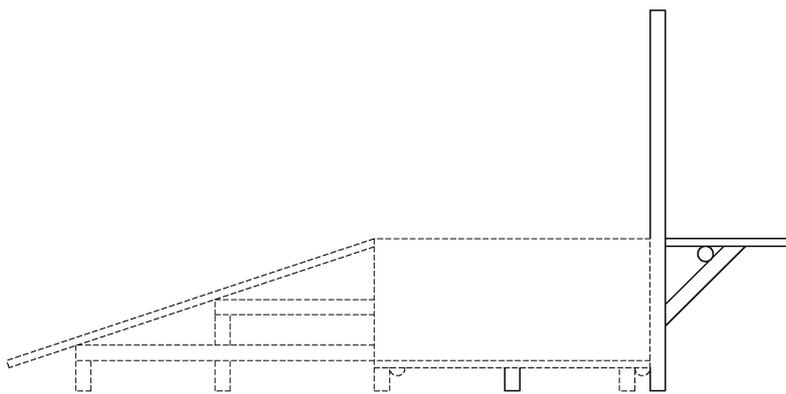
【底面図】

(4)

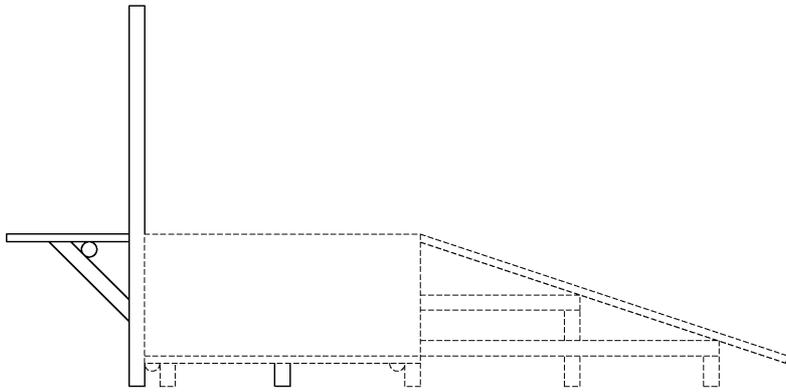
意匠登録 1 6 1 7 9 5 1



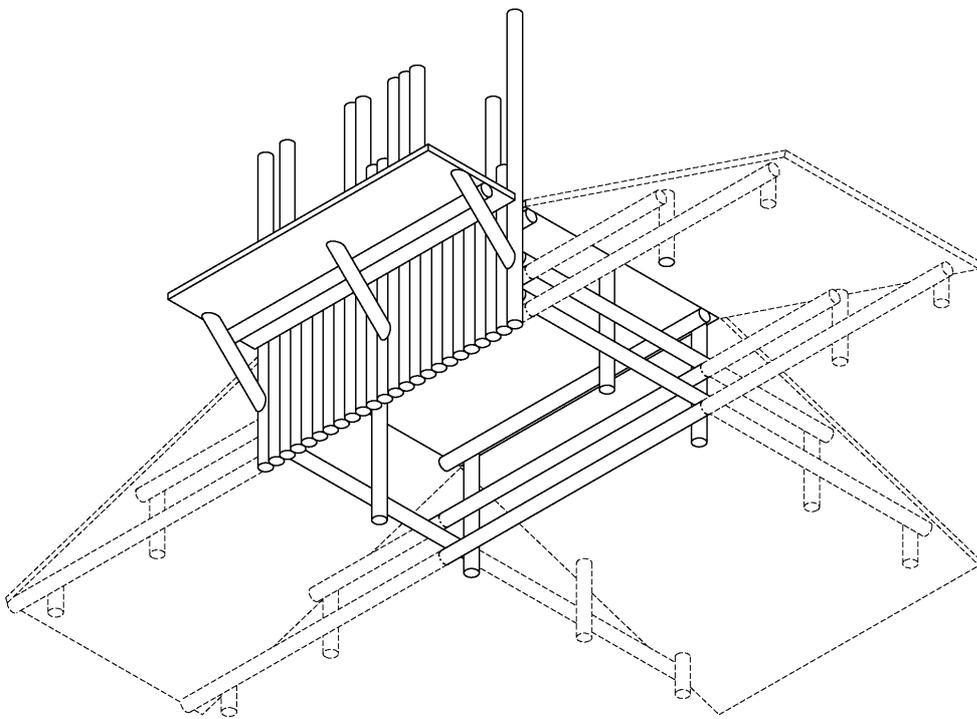
【左側面図】



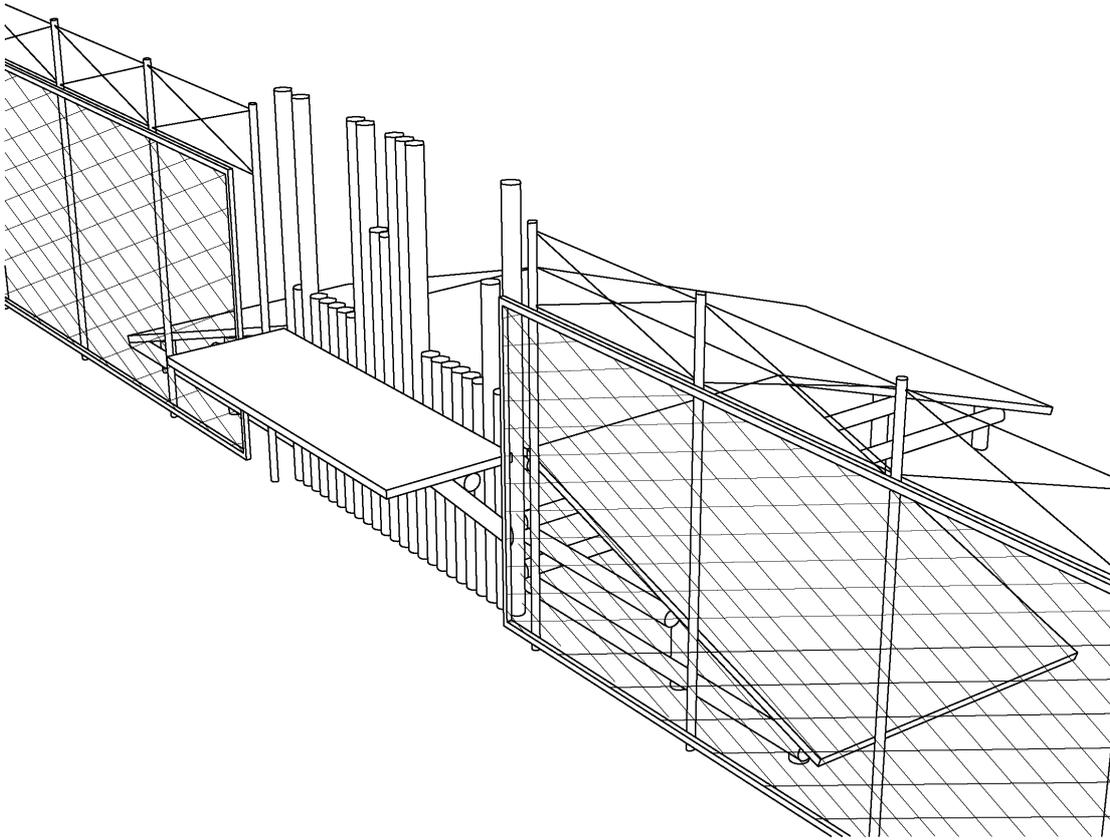
【右側面図】



【斜視図 2】



【参考図 1】



【参考図2】

